

# やまのうち通信



## 第189号

令和5年1月20日

山内自治振興センター  
庄原市山内町 813-4  
TEL・FAX (0824) 74-0451  
✉ yamanouchi.jichi@gmail.com



↑フェイスブック  
QRコード



↑インスタグラム  
QRコード

## 新年明けましておめでとうございます。

昨年中は、山内自治振興区活動に区民の皆様には積極的にあたにかいご支援ご協力いただきましたこと謹んでお礼申し上げます。

コロナ感染も3年を過ぎ経済や地域活動にも大きな障害になっております。さらに外国の戦争が、世界の経済を大きく揺るがしてきました。自治振興区の活動も余儀なく中止や縮小となりましたが、皆様には環境整備や駅の草刈・甲山の狼煙・空き家対策など積極的に活動していただきました。

現在、過疎化の進む庄原市では人口減少が著しく市の一番の課題となっています。山内自治振興区では、いち早くこの対策に取り組み、みなさんのご協力で大きな成果を出し次々と移住してこられています。

山内保育所にも園児が増えて増築の運びとなっています。明るい未来がひらけてきました。米のコンクールでも秋には山内の米が4品入賞しています。皆さんの研鑽と努力の成果が出ています。

令和5年が益々発展の年となりますよう活力のある地域づくりに全力で取り組みたいと思いますので、続いてご支援ご協力をよろしくお願いいたします。

本年が皆様にとりまして明るい幸せな一年となりますよう祈念し新年のご挨拶といたします。

山内自治振興区長 市川 基矩



本年もよろしくお願いたします。  
事務局一同



↑今回の門松も、事務局長の実安さんと副区長の百間さんの手作りです！



## とんどの写真投稿です！

### ●平田自治会

1月9日(月)、3年振りにとんど行事を行いました。子どもたちもたくさん参加し、賑やかなとんどとなりました。年男年女の方々が火入れを行いました。



今年も家内安全・  
無病息災を願って、  
各自自治会でとんどが  
行われました！

以前、勤めていた福祉職場の上司から、「自分が幸せじゃないと、人を幸せにはできないよ。」と言われたことがあります。仕事をしている、当時の私の姿を見て、上司は、幸せそうに見えなかったのか？こんな問いかけをしてくれました。その時には、自分の「幸せ」といってもイメージがつかず…もしかすると、私は福祉の仕事に向いてないのかな…。と感じたことを思い出します。

「福祉」は、幸せや豊かさを表す言葉と言われますが、福祉を仕事にすることの、奥深さや難しさを感じたできごとでした。色んなことを考えたり、つまずいたりしながら、障害を持つ人の福祉施設等で働いて約12年になります。私は、今、相扶園で障害分野を専門にする『相談支援専門員』として、相談やサービス等利用計画(障害分野のケアプラン)に関する仕事を担当しています。

介護保険に『介護支援専門員』(ケアマネジャー)という職種がありますが、障害分野には、障害者総合支援法に基づく、『相談支援専門員』という職種があります。

相扶園は、高齢の方が利用する施設ではないの？と、思われている方も多いのではないのでしょうか。いえいえ、相談支援専門員以外にも、障害を持つ若い世代(10代~60歳代)の方もホームヘルパーや訪問入浴、通所等をご利用できます。



地域で暮らす方の困りごとや不安を解消するために、相談をお受けし、適切な支援やサービスを利用できるよう、市や社会福祉協議会、サービス事業所、関係者等と連絡調整を行っています。

最初に書いた上司から、「どうして、この仕事を選んだの？」とたずねられたこともあります。この問いには自信を持って「人や人とのかかわりが好きだからです。」と答えることができたことも覚えています。

人とのかかわりを仕事にする、「福祉の仕事」に、日々、やりがいを持ってお仕事させていただいています。

相扶の郷相談支援事業所 相談支援専門員 小田 真子

## おたがいさまネット 「雪道や凍結した路面での転倒事故に注意！！」

コロナ禍で暮らす4年目の年を迎えました。感染が始まった2020年頃に比べるとワクチン接種も進み、マスクや消毒など感染予防を心掛けた生活習慣も定着して、少しは落ち着いて過ごせるようになったと感じます。それでも庄原市では連日二桁の感染者数が発表され、医療体制のひっ迫が心配されています。インフルエンザとの同時流行もいわれる中、やはり感染しないことに越したことはありません。

本誌先月号では寒さの厳しいこの時期、「ヒートショック予防」と「フレイル予防」について述べました。これらに加えて高齢者が気を付けなくてはならないのが雪道や凍結した路面での転倒事故です。とりわけ高齢女性は骨密度の低下により、骨折し易いといわれており、部位によっては寝たきり状態や車椅子生活を余儀なくされます。転倒やケガを防ぐ対策としては

- 滑り止めの付いた靴を履く。スニーカーや皮底の靴は滑りやすい。
- 歩幅を小さくする。下り坂は横歩き。
- 靴の裏全体を地面に付けて歩く。
- 手袋を着用して、両手は自由な状態にする。
- 転ぶときはおしりから。



等があげられています。これから2月に向けて雪の多い時期です。雪道歩行には充分気を付けましょう。

地域マネージャー 三上 智道

### ◆香典返し

## おくりもの

12/13~1/11

水越町 加藤憲司様(故 政明様)

木戸町 中村実様(故 ハギエ様)

殿垣内町 平岡洋介様(故 一幸様)

ご芳志ありがとうございます。ご趣旨を大切に地域の社会福祉増進及び地域振興の資金として、活用させていただきます。



山内地区社会福祉協議会

## 2月の予定

14日 ふれあい給食

20日 自治会長会

28日 ふれあい給食



新型コロナウイルス感染症防止のため中止となる場合があります。

# 定住促進プロジェクト(空き家活用)だより

## ようこそ山内へ

広島市内から山内の水越町に移住を決められたネマツさんゆきさんご夫婦を紹介します。アゼルバイジャン出身のネマツさんは日本の大学で日本文学を専攻され日本語は堪能♪

県職のゆきさんは牛の関係で庄原にも来られているそうです♪ これからのおふたりの夢 応援します！！



はじめまして。昨年の夏に七塚原 SA から見た山内平野がとても美しく そこからご縁をいただいています。

夫婦とも自然が大好きで、将来は自然豊かな場所で、誰かが大切にされていた古民家を引き継ぎ、自分達でリノベーションしながら生活したいという夢がありました。これまで、インターネットで空き家を探していましたが、なかなか納得いく出会いがありませんでした。しかし、山内の美しい景色と、そして地域の皆様と出会ったことで、山内に移住したいと思うようになりました。今は広島市内で働いているため、週末だけ通っていますが、少しずつ移住の準備を進めています。わからないことだらけで、ご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、山内のこと、田舎暮らしのこと、野菜づくりのことなど、色々教えてくださいたいと思っています。よろしくお願いします！

### 山内でごおし隊出動

家の持ち主さんに必要物品を仕分けて頂いた後、一緒に庭の草刈り・剪定作業・掃除・ゴミの分別などなどの作業をしました。



### 第6回

先人の知恵を未来につなぐ体験事業  
やまの家 師走の暮らしごと

2022.12.18

やまの家実行委員会主催



「稲が中国から伝わる前から神事にマコモが使われたいんだよ」  
昨年神社検定一級に合格した中学生のお兄ちゃんの話は深い。



山からの清水で冷やす醍醐味  
大豆灰・すりこぎ  
炭酸ナトリウム・ミキサー  
こんにゃく作り

マコモを長年育てておられる水越の藤田さんに頂き、しめ縄を作りました。今年は昨年皆さんで植え付けたマコモを食べたり、様々な物作りに使いたいですね。本当にお世話になりました。

岡崎さん・藤田さんから伝授



真菰しめ縄作り



実安さんから伝授

3年～4年物のこんにゃく芋を地域にお住いの延原さんや松村さんから頂きました。今年は植え付けをして、目ざせ3年後！！挑戦いたしましょう。本当にありがとうございました。



昨年6月植え付け

雪遊び



次回は 2月5日(日)育てた大豆で  
味噌作りと豆まき ご参加お待ちしております。

地域マネージャー 藤田典久・寺西玉実



# とんどの写真投稿です！

## ●山王自治会

1月8日(日)恒例のとんどを実施しました。

青竹等の材料を集め、地元書家による「プーチンを止めよう！カーブ優勝！コロナ退散！」の大作や大人・小学生達の立派な書き初めのほか、注連飾りや御札等を飾り付け、記念撮影の後、年女2名がとんどに点火しました。

時節柄、飲食無しでの開催となりましたが、例年通り30名を上回る参加がありました。



## ●行里自治会

1月8日(日), とんどを行いました。

1年間の家内安全・無病息災を願いました。



## ●表水越自治会



無病息災、家内安全、地域繁栄を願って、  
1月8日(日)13時30分～水越ふれあい広場で行いました。20名の参加がありました。

